

講義科目 : ドイツ語 I (53期生) : 独語 I (52・51・50期生) 担当 : 竹添 敦子	単位数 : 2 学習形態 : 選択必修科目
---	--------------------------

講義の内容・方法および到達目標

- ・平易な初級文法の範囲内で会話練習と反復繰り返しに徹し、確実な基礎力をつけます。
- ・ドイツ事情、風習、地理歴史などを紹介し、ドイツ文化の一端に触れます。
- ・ドイツ語はローマ字読みができれば発音できます。学び始めが楽なことばです。そこで、まず、発音がきちんとできるようになることをめざします。その後、初步のドイツ語を使った自己プレゼンテーション、コミュニケーションの力をつけます。

授業計画

第1回 ドイツ語圏の話・文字の発音	第16回 前期の復習・確認
第2回 ドイツ語発音の基礎	第17回 何をするのがお好き？(否定の表現)
第3回 ドイツ語で挨拶(慣用表現)	第18回 応用練習(時間を表す前置詞)
第4回 応用練習(自己紹介)	第19回 応用練習(いつ○○しますか？)
第5回 どちらのご出身？(動詞)	第20回 ドイツ語では何と言うのでしょうか？
第6回 国名・科目名で練習	第21回 さまざまな名詞(性・数・格)
第7回 応用練習(1人称・2人称)	第22回 応用練習(名詞の覚え方、辞書で確認)
第8回 仕事は何ですか？(疑問詞)	第23回 何を食べますか？(冠詞)
第9回 職業名で練習(3人称)	第24回 応用練習(否定冠詞)
第10回 応用練習(主語を変えてみる)	第25回 レストランで注文(möchteの練習)
第11回 会話で練習(決定疑問)	第26回 メニューを読む(教えられない名詞)
第12回 「～です」の表現(sein動詞)	第27回 ドイツのクリスマス
第13回 時刻表現(esを用いて)	第28回 私の家族(所有表現)
第14回 さまざまな動詞	第29回 応用練習(彼の、彼女の、あなたの)
第15回 応用練習(語順)	第30回 応用練習(自己プレゼンテーション)

教材・テキスト・参考文献等

- ・テキスト 川上博子・Imke Lenz『トントン・ドイツ語』(朝日出版社)
- ・辞書 講義冒頭で説明します。新たに購入する場合は『新アクセス独和辞典 第四版』(三修社)が手ごろです。電子辞書は初学者には不向きです。

成績評価方法

- ・参加型授業のため出席を重視します。年間3分の1を超えて欠席した場合、評価の対象外とします。
- ・前期、後期の定期試験(50%)、出席・提出物等受講状況(50%)を基準に判断します。